

ミスジナガクチキ *Stenoxylita trialbofasciata* (Hayashi et Kato)

【選定理由】

全国的にも産地は局地的で稀少な種。ブナ帯の自然林内に生息し県内での生息地は限られている。

【形態】

体長 9~12mm。体型は細長く、胸部は赤い。上翅は黒く 3 条の黄色の横帯がある。

【分布の概要】

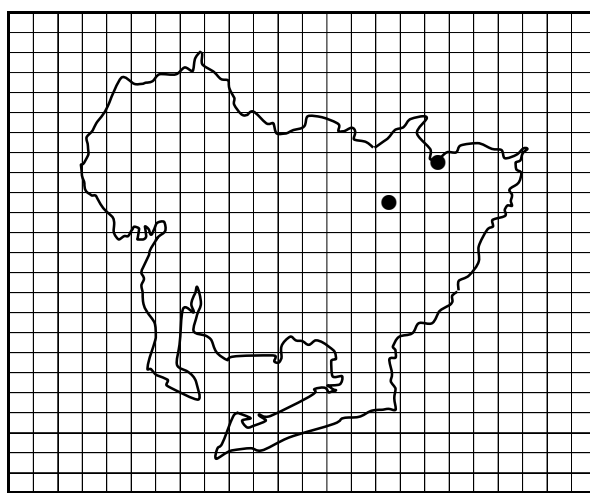
【県内の分布】

設楽町（大平ほか, 1996）、豊田市（旧稲武町）（蟹江, 1989）の 2 箇所から記録されている。

【国内の分布】

本州。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

愛知県では上記 2 箇所の原生林内にのみ生息している。成虫は 6 月に現れ、イヌブナなどの立ち枯れに集まり、幼虫もこれらに穿孔する。個体数は非常に少ない。近年生息情報が途絶えている。

【現在の生息状況／減少の要因】

生息地が狭く限られており、本種の将来的な生息に危機感がもたれている。

【保全上の留意点】

愛知県内のある程度まとまった自然林は上記 2 箇所に限られ、本種をはじめ多くの固有種が生息する。これら地域の開発改変には極めて慎重な配慮が必要である。立ち枯れや倒木なども、特に危険のないものは放置することが望ましい。

【関連文献】

蟹江 昇, 1989. 愛知県面ノ木峠で採集した甲虫. 佳香蝶, 41 (157): 7-10.
大平仁夫ほか, 1996. 第 5 章 第 4 節 (8)コウチュウ類. 設楽町誌・自然編・資料編: 449-551.

【関連文献】

大平仁夫ほか, 1996. 第 7 章 昆虫類. 第 1 節 昆虫綱 コウチュウ目. 稲武町史・自然・資料編: 180-266.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)